

Answers & Key Points の構成

- 答え合わせに使うだけでなく、Key Points もよく読んでおきましょう。解答する上での学習ポイントがわかりやすくまとめられているので、Key Sentences の Key Points とあわせて利用すれば、入試直前の総整理にも最適です。

Answers & Key Points

unit 1-33 [CHECK1-129]

Training Problems

【解答・ポイント】

unit 1

CHECK1-2

P.17-19

▶ 語句整序

(1) Mary studies very hard every day. (2) Your dictionary is on the desk. (3) There are three dictionaries on the desk. (4) I bought a new bag at the shop last week. (5) Here is a dictionary.

▶ 語句補充

(6) This is a popular song.
 (7) This is a song popular among girls.
 (8) Tell me something interesting.
 (9) That blue bag on the table is Mary's.

▶ 誤文訂正

(10) at eight there tomorrow ⇒ there at eight tomorrow
 (11) was ⇒ were (12) are ⇒ is (13) a ⇒ an
 (14) There is your watch ⇒ Your watch is

▶ 同意文完成

▶ 通語補充作文

▶ 英訳



(15) There are, in (16) There are, has
 (17) drink something cold (18) Here we are
 (19) Here you are [Here it is] (20) Here we go
 (21) There are seventeen boys in my class.
 (22) Tom will meet his friend at a restaurant in Yokohama this afternoon.
 (23) The pretty doll on the piano is a present from my sister.
 (24) Here are three pens.
 (25) Here comes your teacher.

Key Points

■ 2-3 KEY SENTENCES POINTS (6) (7) (9) (23)

(1) (4) (10) (22) *主語+動詞(+目的語・補語)の後は、「様態+場所+時」の順序が原則。
 *それぞれ単位の小さいものを前に置く。

(2) (14) *主語(限定されている名詞)+be動詞+場所「～は…にある[いる]」

(3) (11) (12) (13) (15) (16) (21) *There+be動詞+主語(限定されていない名詞)+場所「…に～がある[いる]」*主語とbe動詞の一致に注意。

(5) (24) *Here+be動詞+主語(限定されていない名詞)「ここに～がある[いる]」*主語とbe動詞の一致に注意。

(8) (17) *something / nothing / someone / no oneなど+1語の形容詞 *これらの名詞は1語の形容詞でも後置される。

(18) (19) (20) (25) hereを用いる口語表現: Here we are (at ~). 「さあ、(～)着いたよ / Here you are. / Here it is. 「ここにありますよ、さあどうぞ / Here we go! 「さあ、行くと。さあ、始めるよ / Here comes ~. 「ほら、～が来たよ」▶ CHECK115 *代名詞の場合はHere he comes. のようになる。



CDの効果的な活用法

本書の付属CDには、Key Sentences, Training (21)-(25)の「英訳」解答例、LET'S TRY!の「リスニング問題にチャレンジ!」が収録されています。アメリカ人のネイティブスピーカーによるナチュラルスピードでの吹き込みですので、英語の正しい発音やリズムに慣れることができます。

リスニングは、テストや入試の「リスニング問題対策」だけのために行うものではありません。英語を聞く「耳」を鍛え、発音練習を重ねると、英単語・熟語が頭に残りやすくなったり、読解のスピードが上がったり、英作文のミスが減ったりと、リスニング以外のところでも効果があるのです。

以下に、CDを用いた段階的な学習方法を紹介しますので実践してみてください。

Key Sentences, Trainingの「英訳」解答例は下記のStep5まで、リスニング問題の方は難しいかもしれませんが、Step3まではやってみましょう。英文法を「活用」することが、「読む」「聞く」「書く」「話す」のバランスのとれた英語力につながっていきます。

STEP0

英文の構造や意味をしっかりと理解する。疑問点が出てきたら、『SAPIX 中高部式 英文法123+』や辞書を使って解決しておく。

STEP1

Listening (聞き込み) テキストを見ないで繰り返し聞く。よく聞き取れないところの確認は、聞いた後にテキストを見るようにすること。

STEP2

Shadowing (口まね) ナレーターの声に一瞬遅れて、そっくりまねをする。初めのうちはテキストを見ながらでもかまわない。

STEP3

Retention (記憶保持) Shadowingができるようになったら、今度は英文を聞き終わってから、そっくりまねして声に出す(CDプレイヤーのポーズボタンを利用)。発音やリズムにも気をつける。

STEP4

Dictation (書き取り) 聞こえてくる英文を丸ごと記憶に留めて、そっくり紙に書き取る(CDプレイヤーのポーズボタンを利用)。冠詞や-sなど細かなところにも気をつけて、それを本文と照らし合わせる。

STEP5

Retranslation (訳し直し) CDを使わずに日本語訳をヒントに英文を口で言ってみたり、紙に書いてみる。